

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

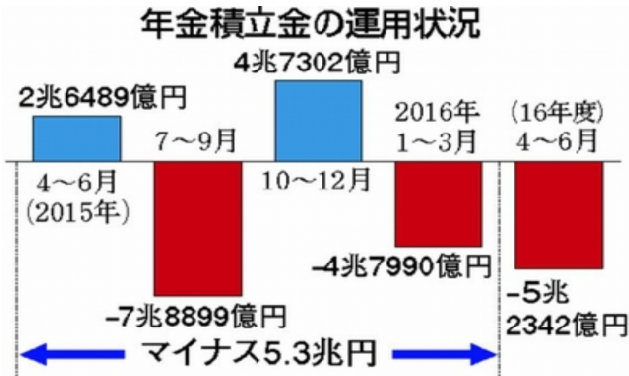
金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@
pluto.plala.or.jp

年金運用で連続巨額損失

安倍政権の責任重大

公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)は8月26日、2016年4～6月期の運用実績が5兆2342億円の赤字になったと発表しました。GPIFは7月末、15年度(16年3月期)の運用実績が株安や円高の影響で5兆3098億円もの赤字になったと発表したばかり。今年度も巨額の赤字が続いていることになり、「アベノミクス」による「株高」を演出するため、危険な株式運用を倍増させ、巨額損失を生み出した安倍政権の責任が改めて問われます。



安倍首相は2014年1月世界最大の機関投資家であるGPIFについて「成長への投資に貢献する」と宣言。国民の大事な財産である年金積立金を使って大量の資金を株式市場に流し込み、海外からの投機マネーも呼び込むことで、実体経済とかけ離れた株高・円安をつくり出し、みせかけの「景気回復」を演

老後を危機にさらす 安倍政権は許せない

年金者組合飯能支部の野尻一夫支部長は、「年



控室前に張られたロープ

原市場在住の佐藤けい子さんから、次のような電話をいただきました。「私は、毎回のよう議

金積立金は、国民の老後の年金保障が目的であり、安定運用が大原則だ。国民の積立金を自らの政権維持のために注ぎ込み、老後の安心を危機にさらすことは許されない。投機的運用で損失が出れば結局、年金削減や保険料引き上げとなって国民に犠牲が押し付けられることは必至だ。安倍政権は、さらに支給年齢を70歳まで引き上げる検討

市民を不審者扱い? 飯能市議会の対応に疑問

前には、衝立とロープが張られ、今後は、控室で議員に会うことは、まかり成らぬと言うのです。市民と議会・議員との間に壁ができたような気がして、とても残念です。これまでは、議員不在の時は施錠し、来客があった場合は、「控室入退室受付簿」に氏名住所、入退室時間を書いて事務局で管理していました。ところが、9月議会から、入室は一切認めない、来客があった場合は、事務局の応接か、説明者控室で対応することにした



強行採決から1年
戦争法廃止!
9.19国会正門前行動

9月19日 月・祝
15:30~17:00
国会正門前

13:30 飯能駅改札集合。
13:40 元町・中華街行
(小竹向原乗り換え)

■主催/総がかり行動実行委員会

波紋

マレーシアのクアラ Lumpur で開かれていたアジア政党中央委員会の第9回総会は、「クアラ Lumpur ル宣言」を採択して3日閉幕しました。この宣言の採択で「核兵器禁止条約のすみやかな交渉開始を呼びかける」という課題が中国共産党代表団の横暴きわまるふるまいで不当に削除されたことを知って驚いてしまいました。▼宣言起草委員会でのこの課題は全会一致で受け入れられていたのです。ところが採択直前になって、中国共産党代表団がこの部分の削除を強行に求めてきたというのです。日本共産党との話し合いでの中国共産党代表団の言い分も支離滅裂で道理のないものです。▼こうした中国共産党の態度の根底には、中国が5つの核保有国の一員として、米国などとの共同歩調を強め、核兵器廃絶のための具体的措置に反対する立場をとっているという重大な問題があるといわれています。これでは国際社会の信頼を得ることなどできないのでは。

子どもと高齢者の貧困対策

新井たくみ市議の一般質問から



学校給食への一部助成を

新井 小泉構造改革以来、正社員から派遣、パート・アルバイトなど雇用の非正規化がすすみ、安倍内閣のアベノミクスでさらに、格差と貧困が拡大している。

2008年が子どもの貧困元年と言われ、2013年には、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が成立、翌年には、「子どもの貧困対策に関する大綱」が制定された。しかし、改善のための数値目標が明示されていない。子どもの貧困対策を

考える上で、①親の就労問題など経済的な貧困対策②学習権の保障③健康と生活の対策などがあるが、ここでは、食の問題と奨学金の問題を伺いたい。消費税増税や物価高で、給食費が上がり、家計に大きな負担となっている。給食費を払えない家庭も増えているなかで、学校給食費への助成ができないか。県内では、秩父・幸手・滑川・小鹿

担当参事 経済的に厳しい家庭には就学援助制度があり、負担軽減をしているので、今のところ給食費の助成は考えていない。

子ども食堂開設にむけて支援の検討を

新井 貧困家庭などの子どもたちに無償でご飯を提供する「子ども食堂」が全国で300ヶ所を超えて、広がっていると言います。余った食材を個人や企業から集めて、宅配するボランティアも全国に広がっていることが報道されています。飯能市内でも、「こうした支援ができないだろうか」という意欲的な方の声がある。求められる支援策として、一つは場所の提供、もう一つは、食材など支援するシステム、広

報などの援助がある。子ども食堂開設やフードバンクなどの支援を検討して頂きたい。

た状況になってもおかしくない社会になっている。わが党が実施したアンケートにも一番の不安は老後の不安で64%にも及んでいる。そこで、高齢者の仕事確保とともに、住宅の確保が重要だ。

低所得高齢者の住宅の確保策を

新井 高齢者の貧困も深刻です。下流老人という言葉が流行になった。病气や介護、倒産、失業などでいつ、誰がそうし

るのか、特に所得の低い生活困窮者には、家賃の一部補填も検討していると言う。市営住宅

市場において活用されていない空き家・空き室を有効活用すること。住宅確保要配慮者に広く提供するしくみにすることなどが記述されていることから、国、県の動向を注視していきたい。

一小体育館の耐震補強工事契約の一部改正

新労務単価、実効性のある改善を

9月議会に、第一小学校体育館の耐震補強工事契約を一部改正する議案が出されています。これは、契約後に、国交省の労務単価が改正したことに伴うもので、324万円を増額するものです。質疑の中で、滝沢おさむ市議は、「建設現

場では2次3次、場合によっては4次5次の下請け孫請けでの労働というのが実態だ。労務単価の引上げが末端まで届いているのか実態調査が必要ではないか。朝霞市（新座・上尾）などでは、市が直接労働環境の調査を行っている。飯能市も調査をすべきではないか」と質したところ、担当部長は「今後アンケートなどについて検討したい」と答弁しました。

来年からF35国内配備 飯能市など基地周辺に爆音被害も

日米両政府は来年以降、航空自衛隊に、米海兵隊の最新鋭のF35ステルス戦闘機を配備するとともに、自衛隊基地の大幅な増強を進める計画です。防衛省は来年度概算要求に、最新鋭のF35Aステルス戦闘機の「臨時飛行隊」を創設し、航空自衛隊青森三沢基地に配備する計画を盛り込みました。来年度にも米国から実機を取得し、最終的に42機を配備する計画。また、国内2カ所（東京都・瑞穂工場と愛知県小牧南工場）に地域整備拠点を設ける計画です。

米空軍横田基地には現在、戦闘機が配備されていますが、今後は修理のためF35が頻りに飛来し、飯能市を含む周辺自治体への深刻な爆音被害や大気汚染など環境への影響が懸念されます。米国ではこれまで、同機の配備が計画されているフロリダ州などで環境影響評価が実施されてきましたが、日本では地元住民や自治体への説明もないまま、なし崩しで強화가進められています。F35は、当初1機あたり96億円から181億円へと約2倍に高騰しました。維持費も高額になるため、軍事費拡大の主要因になっています。

滝沢おさむ市議は、「三沢基地から米軍のF16戦闘機が横田基地に飛来するが、大きな爆音が響く、F35も飛来するとなると、益々、騒音がひどくなるのではないかと。米国のいいなりでなし崩し配備は許されない」と指摘しています。

挽歌

小林光男さんへ

木瓜

野の花を入れてあげたし棺の中
口あけてひやおろしでものみたいか
こみあげる平和の思ひ秋水燃ゆ
秋海棠花瓶に挿してなに偲ぶ
つまらないからもどつてこいよ菊の酒